

# めぐ しんこう 救いについて・3 恵みと信仰によって



( 月 日 )  
 ローマ人への手紙 <sup>てがみ</sup> 3:23~24 義とみとめられる・1

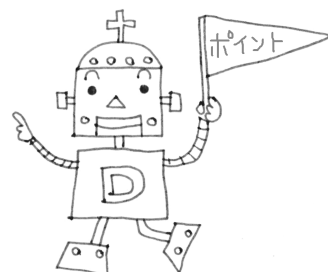
すべての人間は ( ) を犯しましたが、  
イエスさまを信じる人は、 ( ) と認められるのです。

「義」というのは、  
神さまの<sup>まえ</sup>前に正しいということです。私たちの<sup>わたし</sup>心と<sup>こころ</sup>行動が、いつも神さまに<sup>したが</sup>従っているなら、私たちは「義」ということになります。私たちは<sup>つみびと</sup>罪人なので、「義」ではありませんが、イエスさまを<sup>しん</sup>信じる人は、<sup>ひと</sup>義 (正しい人・<sup>むざい</sup>無罪) と認められるのです。

( 月 日 )  
 ローマ人への手紙 <sup>てがみ</sup> 3:23~24 義とみとめられる・2

ただ、神の ( ) により、キリスト・イエスによる<sup>あがな</sup>贖いのゆえに、  
<sup>あた</sup>価なしに、 ( ) と認められるのです。

これは、私たちはみな<sup>つみびと</sup>罪人ですが、イエスさまの<sup>いのち</sup>命という<sup>だいか</sup>代価を支払ってくださったので、  
私たちは<sup>ぎ</sup>義と<sup>みと</sup>認められるという意味です。「恵み」というのは、神さまから<sup>いっほうてき</sup>一方的に  
ただ<sup>たまもの</sup>賜物(プレゼント)のことです。私たちが何かをしたのではなく、「恵みにより」、  
神さまが私たちを<sup>ぎ</sup>義と<sup>みと</sup>認めてくださるのです。



( 月 日 )  
 テモテへの手紙 <sup>だいに</sup> 第二 1:9~10 恵み

私たちが<sup>すく</sup>救われたのは、何によりますか？ <sup>ただ</sup>正しい<sup>ほう</sup>方を〇でかこんでね。

私たちの<sup>はたら</sup>働きによる

神さまの<sup>けいかく</sup>計画と<sup>めぐ</sup>恵み

( 月 日 )

□ **ローマンへの手紙 6:23 恵み**

※「賜物」とはプレゼントのことです。

「永遠のいのち」はだれが贈ってくれるプレゼントですか？



社長さん



サンタクロース



クロネコヤマト  
のお兄さん



イエス・キリスト

( 月 日 )

□ **エペソ人への手紙 2:8~9 信仰**

1. 私たちが救われたのは、私たちが何か良い「行い」をしたからですか？

2. では、何によって救われたと書いてありますか（8節）？



( 月 日 )

□ **エペソ人への手紙 11:1 信仰とは**

信仰とはどんなものだと書いてありますか？

**何でもか・き・こ!** ディポジションをして思ったこと・決心したこと、学校やお家であった楽しかったこと・悲しかったこと・・・など何でもかきこもう！先生にも見せて、ひとこと書いてもらおう！